

2 事業経営の基本的な考え方

路面電車は、古くから、身近な乗り物として市民に親しまれており、「函館市公共交通施策基本方針」においても、公共交通機関として、日常生活における市民のモビリティ（移動性）を支える都市の基盤であり、健全な都市環境を形成するうえでも重要な都市施設として位置づけをされている。

そのうえで、定時性に優れた交通機関としての特性や地球環境への負荷軽減性というエネルギー政策上の視点から、全国的に見直されている状況を受け、また、軌道敷の維持管理、施設整備などへの多大な投資や観光への寄与や文化財的要素を考慮し、乗客サービスの向上や効率的な経営に向けての最大限の企業努力の積み重ねによる経営の健全化を前提に、当面、市営での維持を図ることとされている。

この基本方針の実現のため、

- ・ 現行の営業路線を維持することを基本とする効率的な運行および経営の実施
- ・ 高齢社会やバリアフリー対策など利用者の視点からの魅力あるサービスの提供
- ・ 単年度収支の黒字化を基本とする経営の維持
- ・ 年次計画に基づく累積資金不足額の解消

を基本とし、第1次経営計画に引き続いて、電車の利用促進等を中心とする収入に係る対策、経費の効率化等を中心とする支出に係る対策等からなる経営計画を実施する。各対策等の実施にあたっては、予め達成目標の明示に留意するものとする。

なお、この計画の実施期間は、平成22年度から平成31年度までの10年とするが、事業を取り巻く状況の変化に即したものとするため、適時適切に見直しを行うものとする。